米国株式型特別勘定　運用状況（2010年2月末現在）

運用方針

■主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。

■原則として、為替ヘッジは行いません。

■Ｓ＆Ｐ５００指数を上回る投資成果を目指します。

■運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行っていきます。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	8,114,559	98.7%
現預金・その他	110,840	1.3%
合計	8,225,399	100.0%

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
440.32090754	＋1.48%	＋4.41%	＋3.58%	＋35.66%	▲37.08%	▲15.42%	＋340.32%

（注）ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移（運用開始日：1986年12月1日）

運用状況

2010年2月の米国株式市場はMSCI US(現地通貨ベース）で3.09%の上昇となりました。月の上旬は、一部欧州諸国の財政赤字懸念により、大きく下落しました。しかしその後は、EUがギリシャへの財政支援に合意したことや、良好な企業決算発表等を受け、上昇しました。FRBの低金利継続観測も株価上昇の好材料となりました。このような市場環境の中、当特別勘定は1.48%上昇しました。

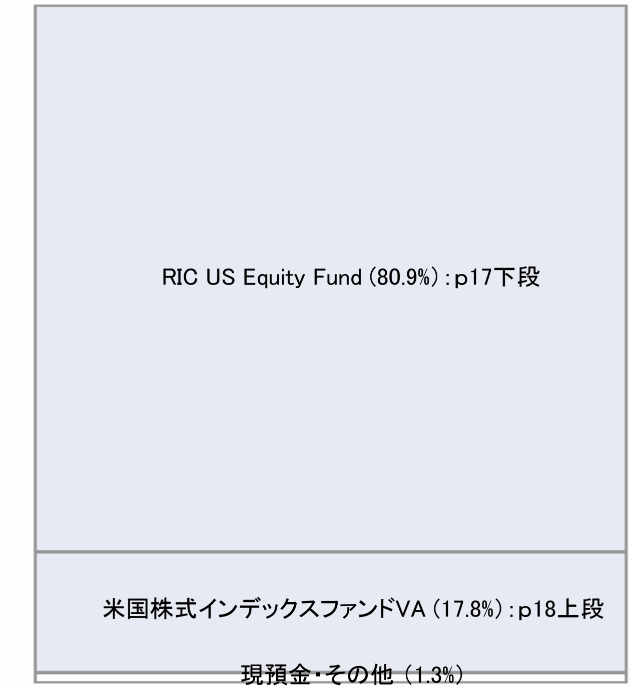
当特別勘定では、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

2月は資金流入に合わせて「米国株式インデックスファンドVA」の購入を行いました。

3月についても、マルチ・マネージャー型の「RIC US Equity Fund」を中心とした投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ポートフォリオの状況

［組入れ投資信託（投資比率）］



（注）「p17下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2／27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。